



2021年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T B K  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岸 高 明  
(コード番号 7277 東証第1部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 倉 村 雅 彦  
(TEL 042-739-1473)

## 減損損失の計上および2021年3月期連結業績予想と実績値 との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期の連結決算におきまして減損損失を計上したこと、および2021年2月9日に公表いたしました連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上について

当社の連結子会社であるティービーアール株式会社に減損の兆候が見られたため、同社が保有する主に機械装置を対象とした固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、2021年3月期において1,505百万円の減損損失を計上いたしました。

#### 2. 連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2021年3月期 連結業績予想値と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 43,000	百万円 400	百万円 900	百万円 0	円 銭 0.00
実 績 値 (B)	43,956	644	1,306	△191	△6.75
増 減 額 (B-A)	956	244	406	△191	△6.75
増 減 率 (%)	2.2%	61.0%	45.1%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	51,340	1,261	944	△3,116	△107.10

#### (2) 差異の理由

2021年3月期の実績値は、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念されるなど依然として先行き不透明な状況にあるなか、アジアなどの地域において需要回復の度合いが想定を上回ったこと、グループ各社における費用抑制の徹底等により、営業利益および経常利益については前回発表の予想値を上回る結果となりました。しかしながら、上記「1.」に記載のとおり、減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失が191百万円となり前回発表予想を下回る結果となりました。

以 上